

ACTIVITY REPORT

2011 年度 工学院大学レーシングチーム月間報告書

5

May 2011

特集

1年生紹介



あいさつ

梅雨の候、皆様におかれてはいかがお過ごしでしょうか

工学院大学レーシングチームは、大会の書類審査用資料を作る作業にかかりました。実際に資料を作っているメンバーの姿を見ると、そのつらさが分かります。しかし、ここで頑張らねば大会での上位入賞は愚か、大会自体にも出場することができません。チームメンバー全員でこの困難な時期を乗り切っていきたいと思えます。

さて、今回の月間報告書に新たに加わるメンバーを記載することとなりました。皆、意欲あふれる姿で活発です。今後のKRTの活動で大いに活躍できると僕は信じています。今後、皆さまにご迷惑をお掛けすると思えますが、どうか温かい目で見守ってください。

スポンサーの皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

2011年度 チームリーダー 長澤拓

全体の進行状況

緑鮮やかなうるわしい季節となりましたが、お変わりございませんか。当チームには、十名を超える新入生が加わり、メンバー皆が新たな仲間の参加を喜んでいきます。

さて、現在のチーム全体の進行状況をお伝えします。5月下旬より、車両製作を中断し、静的審査用の書類制作に取り組み始めました。静的審査には、デザイン審査、コスト審査、プレゼンテーション審査があり、6月はデザインレポート及びコストレポートの提出締め切りとなっています。デザインレポートは既に完成しており、当面はコストレポートの制作に注力していきます。

また、シェイクダウンの時期ですが、車両製作と書類制作を同時進行で行うことが困難であると判断したため、書類提出後の7月上旬へと変更しました。当初の計画より遅いシェイクダウンとなりますが、書類提出後に集中して車両製作を行うことで、昨年度を上回る車両に仕上がると確信しています。

2011年度 テクニカルディレクタ 行方 吾一

～ 1年生の紹介～



今井 宏彰
工学部
機械工学科



小澤 翔二
GE 学部
機械創造工学科



井草 拓也
工学部
機械工学科



向山 航真
工学部
機械工学科



半坂 剛志
工学部
機械システム工学科



小林 蓮
工学部
機械システム工学科



井坂 政志
GE 学部
機械創造工学科



川林 直輝
工学部
機械工学科

～ 1 年生の紹介～



木津川 駿也
工学部
環境エネルギー化学科



菅原 綾馬
工学部
機械システム工学科



國分 将希
工学部
機械システム工学科



小笠原 真
GE 学部
機械創造工学科



杵渕 貴大
工学部
機械システム工学科



瀬端 基
工学部
機械工学科



篠山 裕介
GE 学部
機械創造工学科

Impact Attenuator

衝撃吸収班リーダー 山本 貴史

■活動状況

設計したインパクトアッテネータを製作し、静的荷重試験を行いました。

今年度のインパクトアッテネータは、レギュレーション変更により、車両に取付けられている方法と同じように、フロントバルクヘッドにアッテネータを取付けて試験を行うことと、フロントバルクヘッドに溶接されているアッテネータ取付け防止板が25.4mm以上 たわんではならないので、去年度のアルミ角パイプ2本から4本に増やし板がたわみづらい形状としました。

実験ではまず、去年度と同じ形状のアッテネータを試験しましたがフロントバルクヘッドが座屈してしまい失敗となりました、次に30×30のアルミ角パイプを3本使用したものを試験しましたが、こちらもバルクヘッドがたわんでしまい、失敗となりました。そしてこれらの結果を踏まえて、アルミ角パイプを4本使用し、さらに、φ16の穴を空け、座屈時にかかる最大荷重を低くし、突き抜け防止版の裏に鋼板を溶接したわみづらい構造としたものを製作し試験を行ったところ、レギュレーションを満たすデータがとれたため、この形状に決定いたしました。

■今後の予定

大会に提出する書類を作成します。



図 1 試験前



図 2 試験後

Aerodynamics

エアロダイナミクス班リーダー 村上将太

■活動状況

先週に引き続きクレイモデルの製作を行いました。全体の形が徐々に見えてきたので表面を整える作業に入っています。またアンダートレイの設計とそのメス型の製作を行いました。アンダートレイにつきましては、来月号で詳しくご紹介します。



インダストリアルクレイは常温では硬いのですが、60℃程に熱すると油粘土のように柔らかくなり好きな形に変えることができます。また何度も再利用できるので削り取った粘土は集めて保温機で温めます。

ドライヤーや赤外線ヒーターで直接熱を加えながら形を変えることもできます。とても扱いやすいのですが、表面をきれいにする作業は根気がいるものとなりそうです。

■今後の予定

クレイモデルの表面を仕上げます。



Sponsors

私たち KRT は、多くのスポンサー様に支えられ、活動しております。ご支援頂いております皆様に、厚くお礼申しあげます。

株式会社五十嵐プライヤー様

株式会社ウメダ様

株式会社エフ・シー・シー様

NTN 株式会社様

株式会社江沼チェン製作所様

株式会社カナエ様

株式会社兼古製作所様

呉工業株式会社様

株式会社神戸製鋼所様

株式会社古寺製作所様

株式会社サトー様

三協ラジエーター株式会社様

三和電気計器株式会社様

有限会社須佐製作所

スポーツランドやまなし様

株式会社スリーピークス技研様

株式会社スリオンテック様

象印チェンブロック株式会社様

ダウ化工株式会社様

株式会社高村商会様

THK 株式会社様

東北ゴム株式会社様

特殊技研株式会社様

株式会社トクニ工業様

トップ工業株式会社様

株式会社ニフコ様

株式会社ハイレックスコーポレーション様

ハンマーキャスター株式会社様

株式会社 VSN 様

ヘラマンタイトン株式会社様

本田技研工業株式会社様

松井精密工業株式会社様

株式会社マルト長谷川工作所様

株式会社ミスミ様

三菱レイヨン株式会社様

株式会社レイズ様

タカタサービス株式会社様

株式会社トウルズインターナショナル様

工学院大学機械系同窓会様

■ 発行元

〒192-0015 東京都八王子市中野町2665-1

工学院大学 学生フォーミュラ

広報部 白井 麻衣

TEL 090-4197-2353 FAX 042-622-2970

Mail a210058@ns.kogakuin.ac.jp

URL <http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwa1032/>

※ 会報に関するご意見、ご要望、ご質問等は、お手数ですが上記までお願い致します。